

イスラエル軍は ガザ空爆・地上侵攻やめろ 集団虐殺(ジェノサイド)をやめろ

10月7日に始まったパレスチナ抵抗組織ハマス等によるイスラエル攻撃と、イスラエルの反撃やガザへの爆撃は、民間人を多数含む双方で3000人も死者を出しています。イスラエルはガザ以外での制圧を終わり、ガザに大規模な戦車部隊を結集させ、地上侵攻でハマスを壊滅させるつもりです。しかし、地上侵攻は逃げ場のない何十万人の市民を巻き込み、無差別集団虐殺(ジェノサイド)を引き起こします。絶対に許してはなりません。



イスラエルの国家テロとアパルトヘイトはなぜ許される？

日本政府も欧米政府もハマスの行動をテロと一方的に非難します。しかし、イスラエル政府が13年間に5590人も市民を殺

し、ガザを刑務所のように隔離して、220万人の市民を17年間も閉じ込め、植民地のような状態に置

強烈な空爆でガザはがれきの山にされ、市民が無差別に殺されている

き絶望的な生活を強いてきたことは非難しません。逆に、米国は空母を送り、武器・弾薬を支援しています。これがイスラエルのアパルトヘイト体制と国家テロを支えているのです。

解決の道は占領地からの撤退とパレスチナ国家の樹立しかない

イスラエルが軍事支配している限り、戦争は終わることはありません。パレスチナは抵抗の正当な権利があるからです。市民の犠牲を終わらせ、平和と両者の共存への道は、イスラエルが占領地から撤退しパレスチナ国家の樹立を認めるしかありません。HPはこちらから→



2008-2020年にイスラエルはパレスチナ人5600人(左)を殺した。

ライブ・イン・ピース☆ 9 + 2 5

TEL 090-5094-9483 <https://www.liveinpeace925.com> Email; info@liveinpeace925.com